

まんがでわかる



日本語
にほんご

倉庫業の安全衛生



この視聴覚教材は、倉庫業に携わる事業場で働く皆さまに向けて安全や衛生の基本について学ぶことを目的に作成したものです。



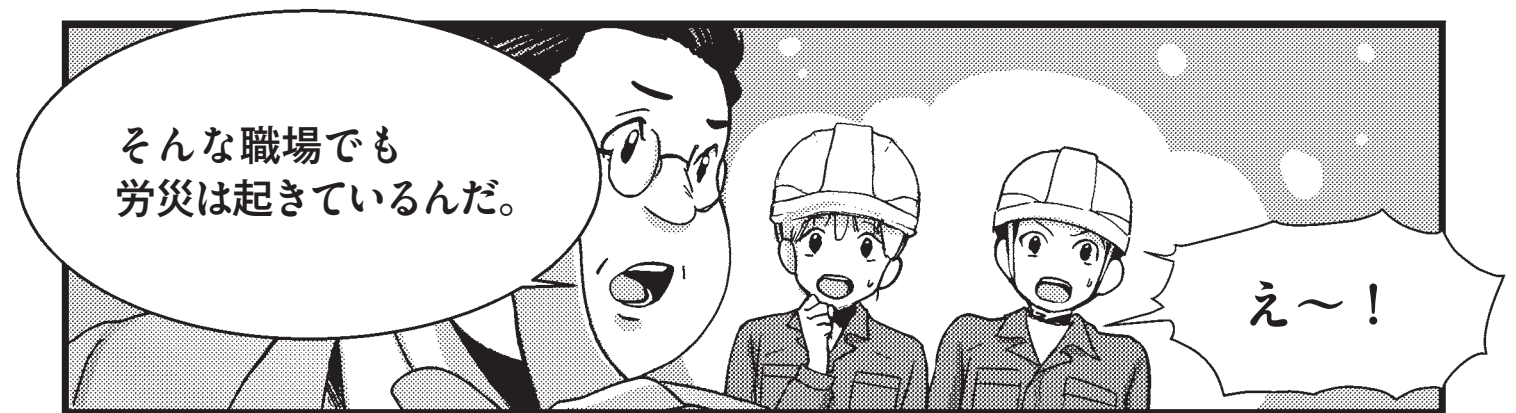
今日は倉庫業の
安全衛生について
学んでいこう！

倉庫業は
社会を支える
重要なお仕事ね。

そうだね！

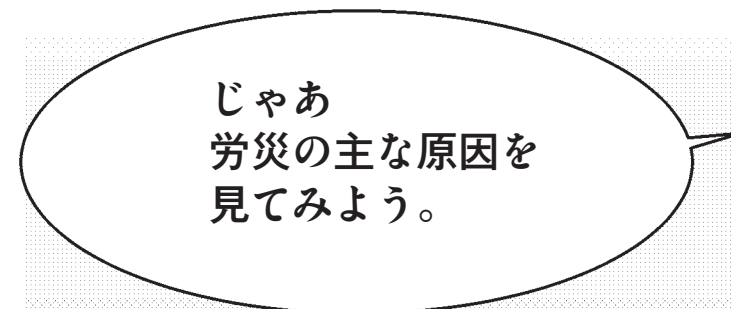
いろいろな貨物を
保管しているんだね。

必要なときに発送する
責任重大な仕事だね。



そんな職場でも
労災は起きているんだ。

え～！

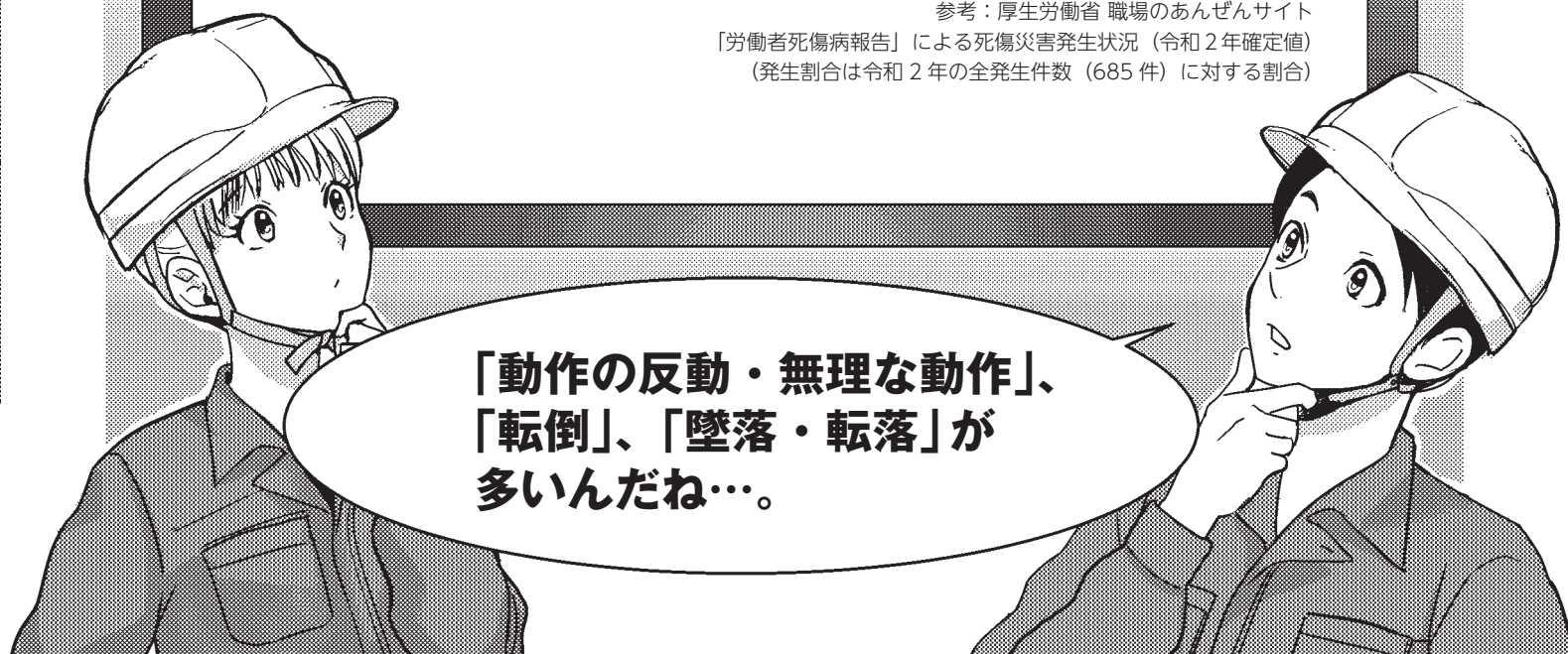


じゃあ
労災の主な原因を
見てみよう。

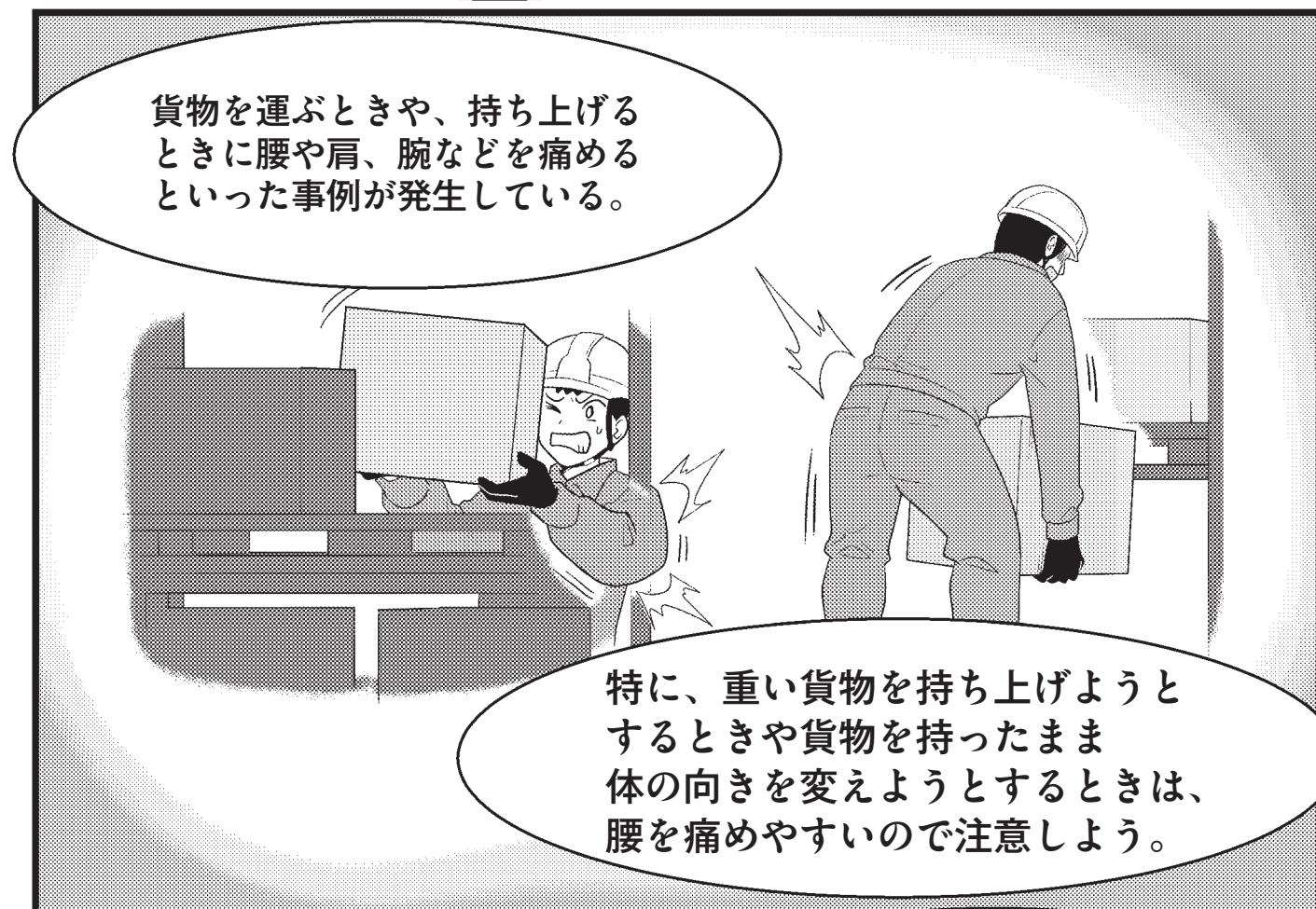
労災による死傷者の発生状況

1	動作の反動・無理な動作	151人(22%)
2	転倒	143人(21%)
3	墜落・転落	94人(14%)
4	はさまれ・巻き込まれ	86人(13%)
5	激突され	61人(9%)

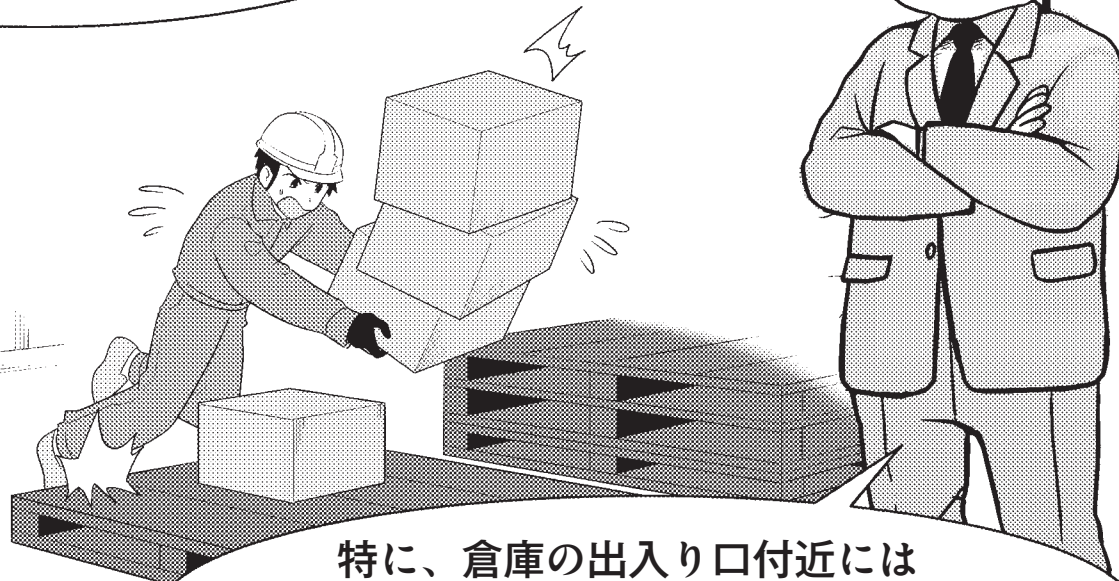
参考：厚生労働省 職場のあんぜんサイト
「労働者死傷病報告」による死傷災害発生状況（令和2年確定値）
（発生割合は令和2年の全発生件数（685件）に対する割合）



「動作の反動・無理な動作」、
「転倒」、「墜落・転落」が
多いんだね…。

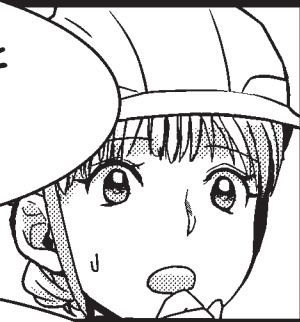


次に「転倒」。
一度に多くの貨物を運ぶとき、
足もとの障害物に気づかず
つまずいてしまう事例が多い。



特に、倉庫の出入り口付近には
パレットなどが置かれている場合が
多いから注意が必要だよ。

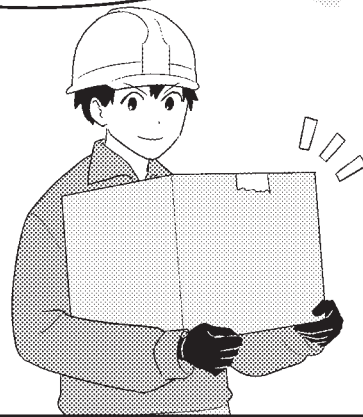
ケガをして働けなくなると
家族も心配するし
収入面でも困るわ……。



だからこそ、普段から
気をつけて行動する
ことが大切なんだ。



貨物を運ぶときは、
前が見えなくならないよう
運ぶものの高さに注意して、
台車などを使い、
さらに周囲に気をつけよう。



正しい持ち方・運び方は、
腰痛などの防止にも
つながるから重要だ。

「墜落・転落」は
どういうときに起きるの？



例えば、
パレットラックの貨物を
確認しようとして、



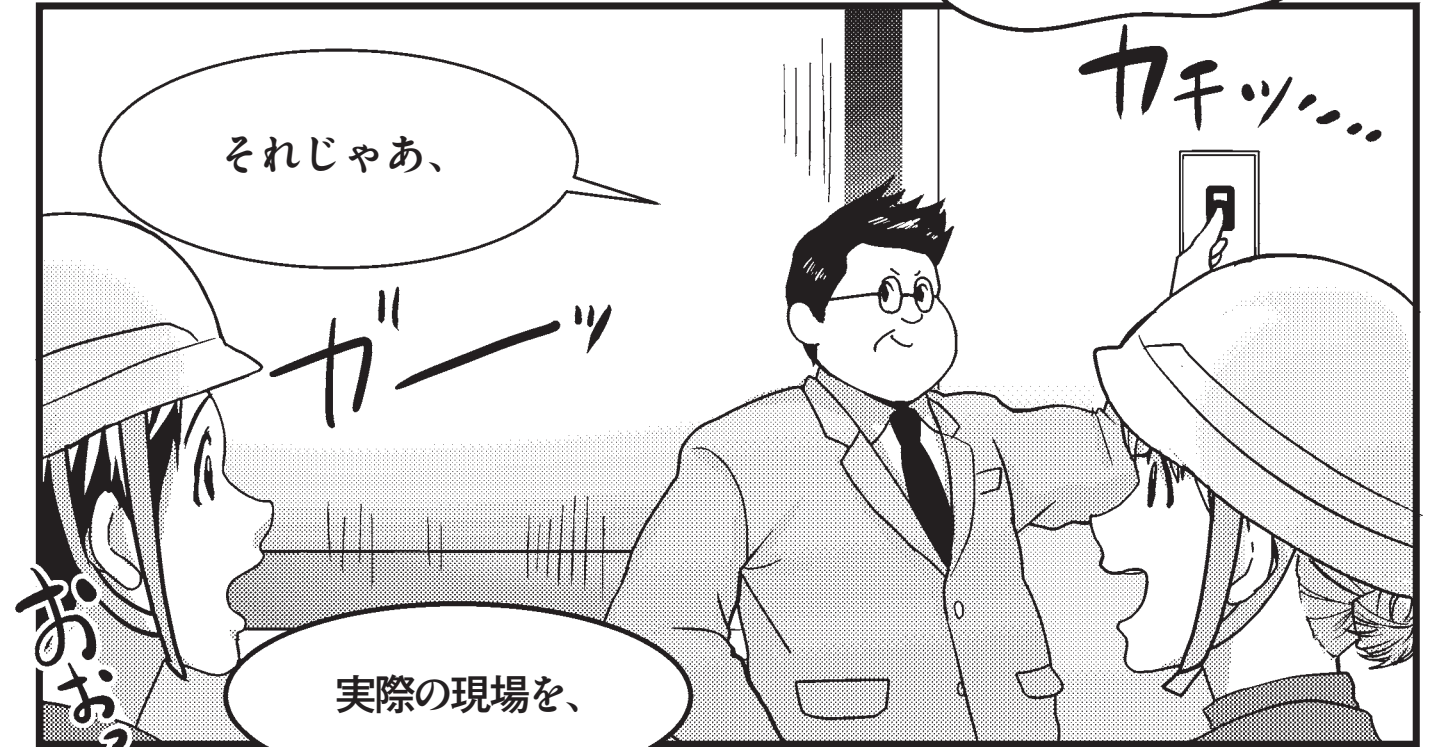
パレットラックに
登ったら手が滑って、
落ちた事例がある。



なるほど…。



それじゃあ、

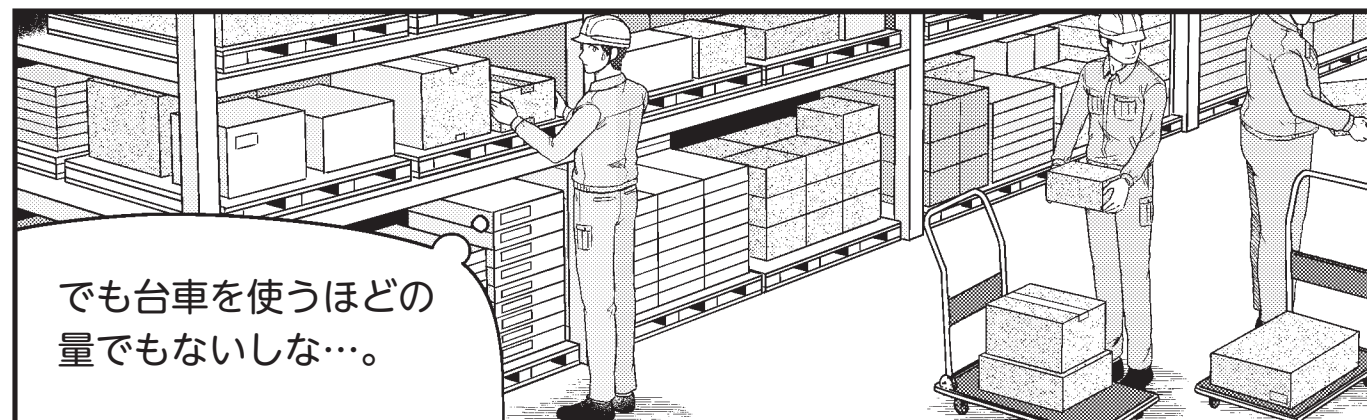
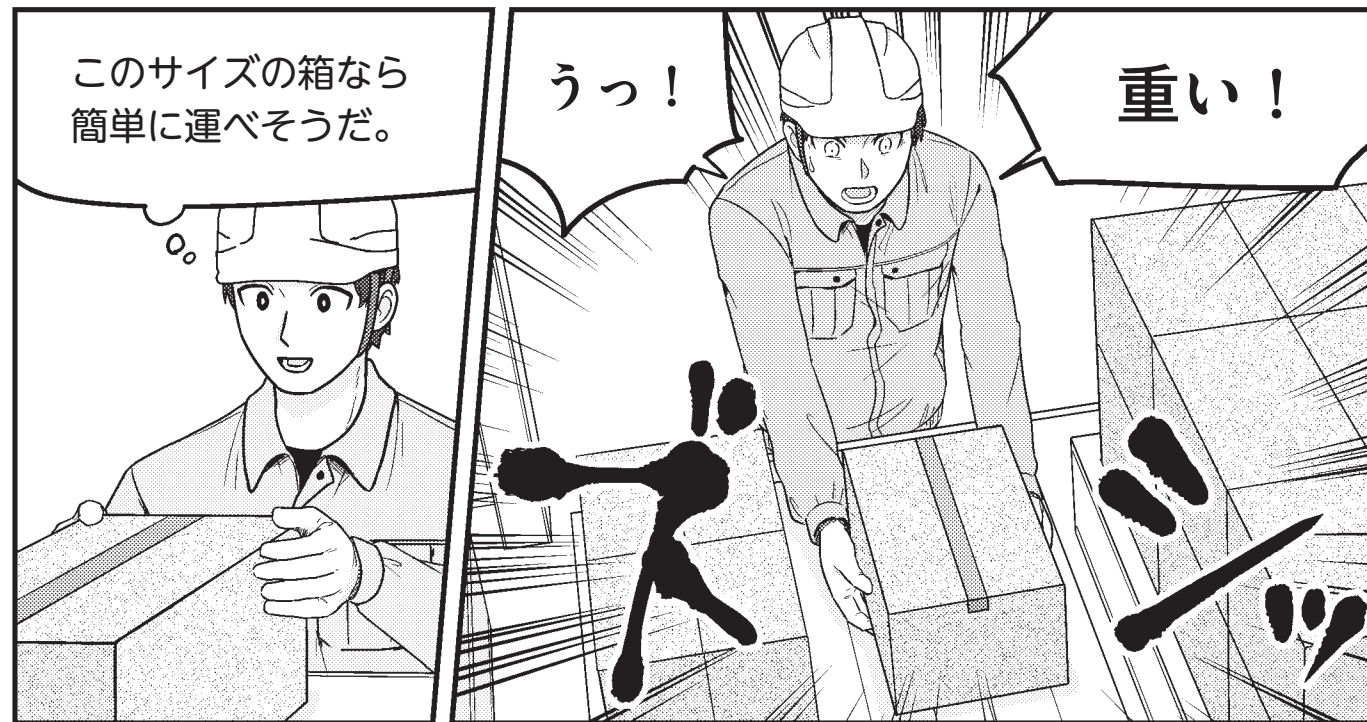


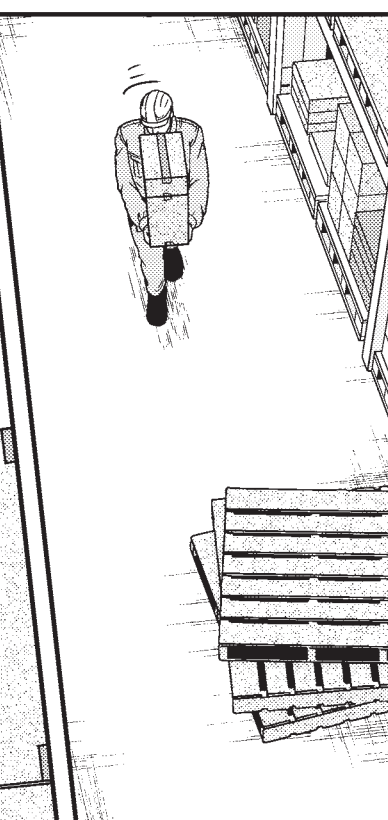
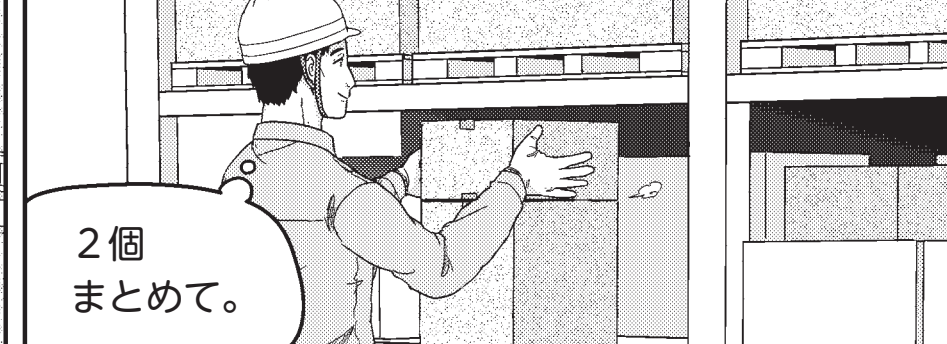
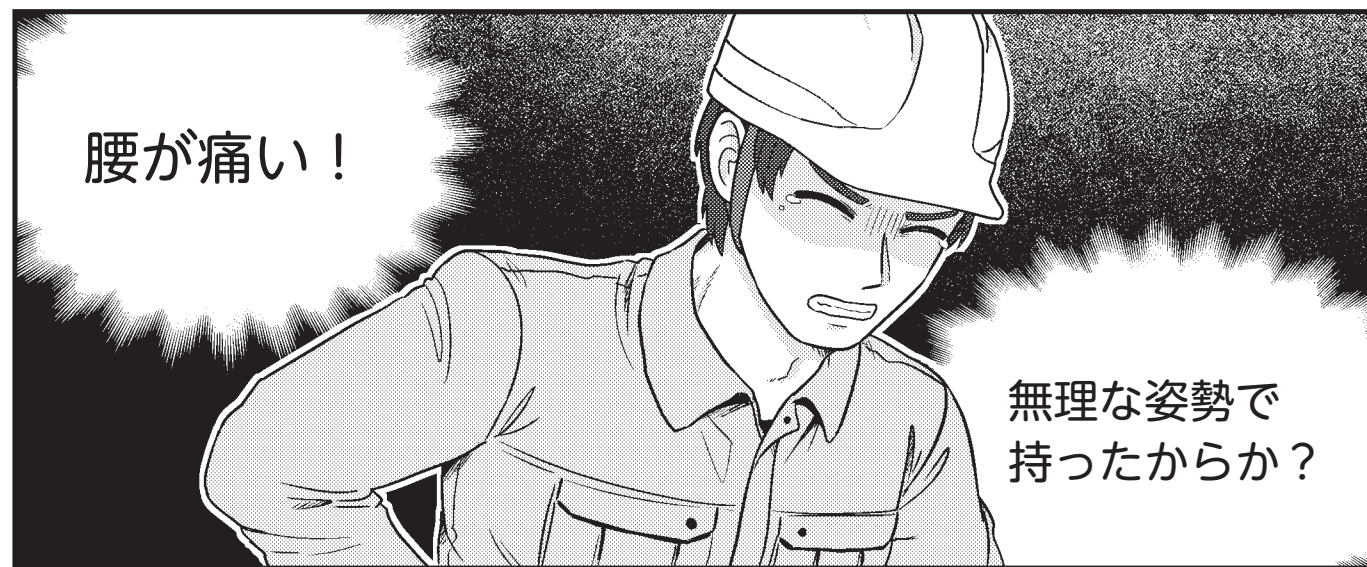
実際の現場を、

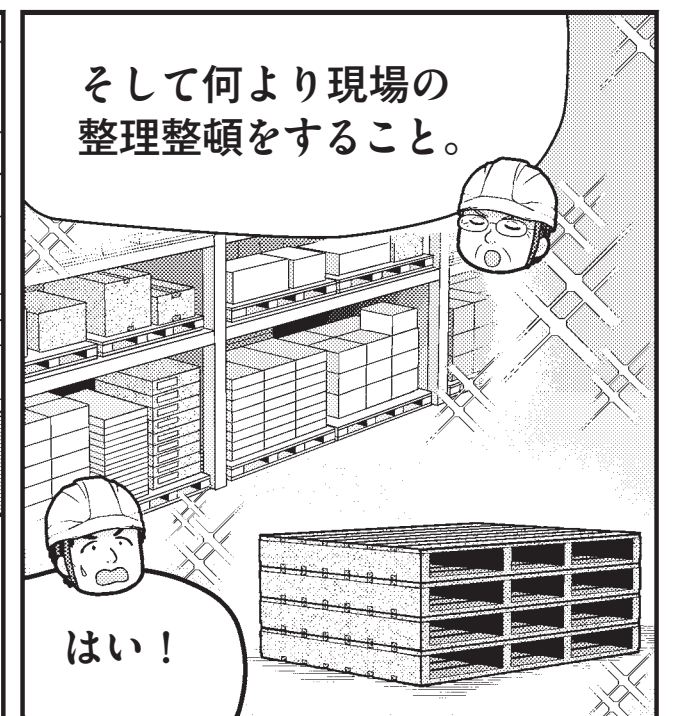
見てみよう！



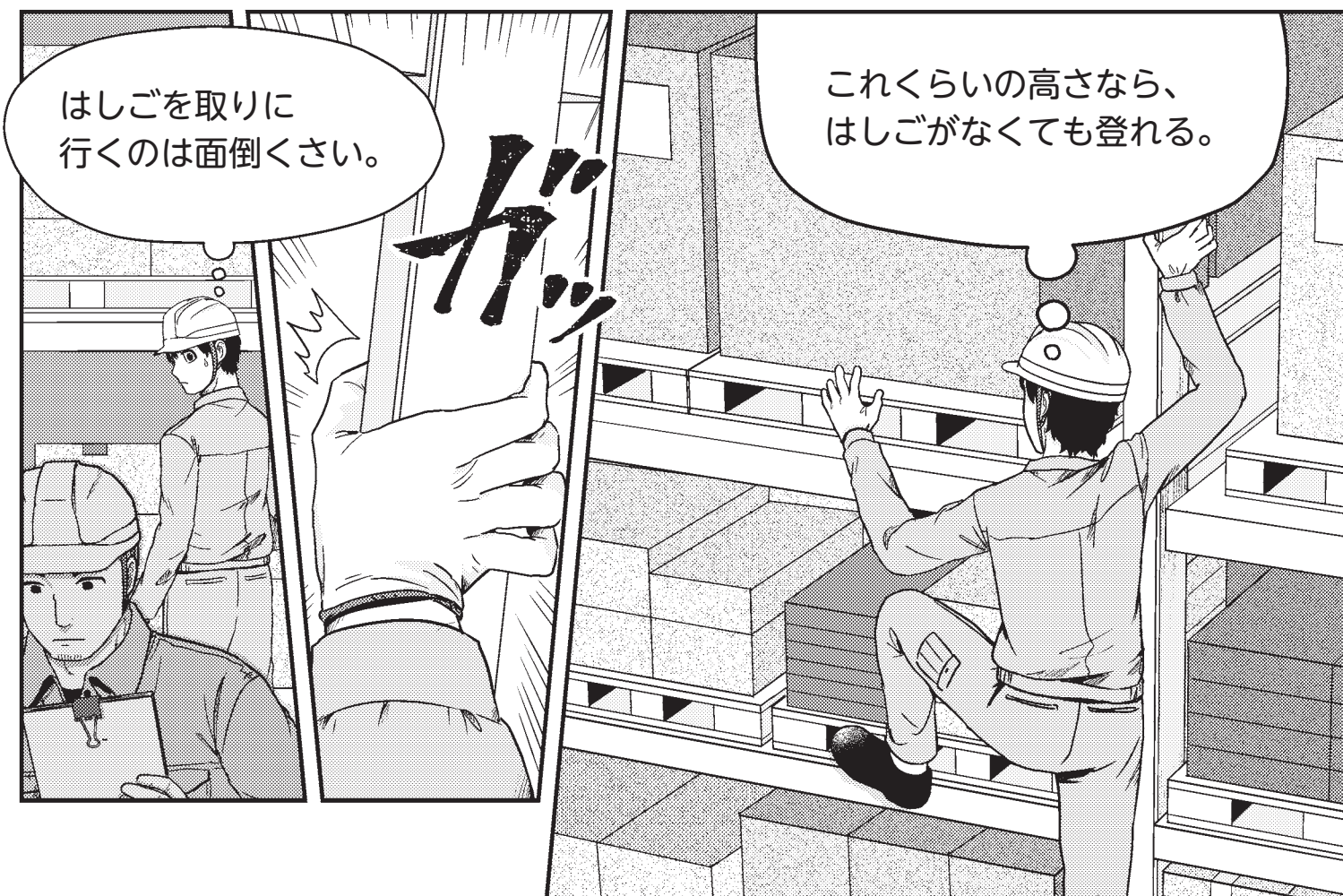
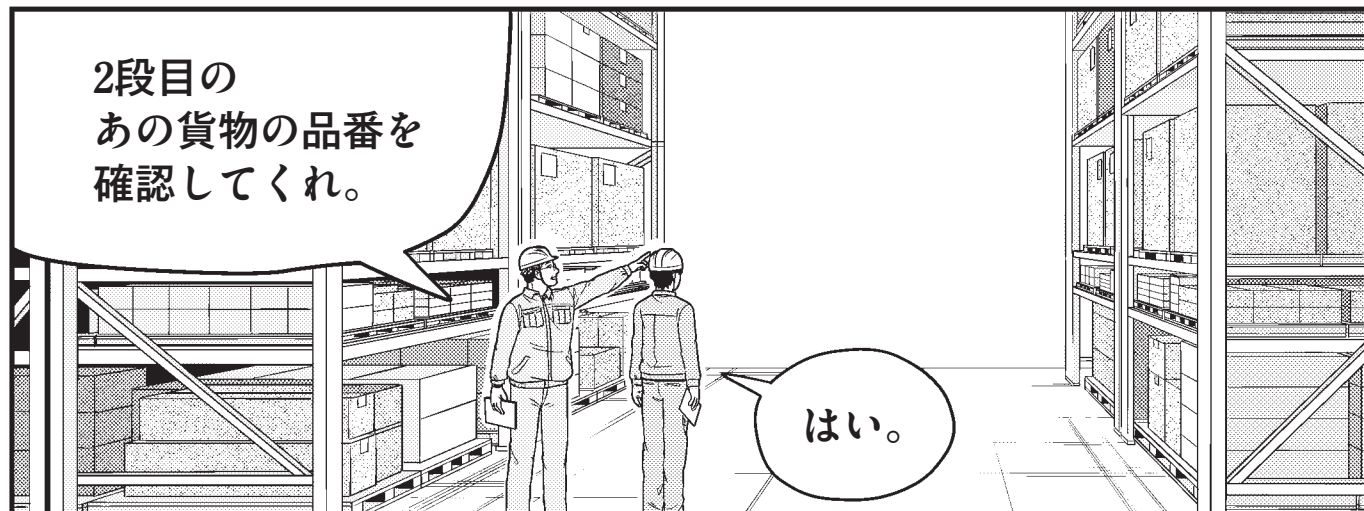
CASE 1

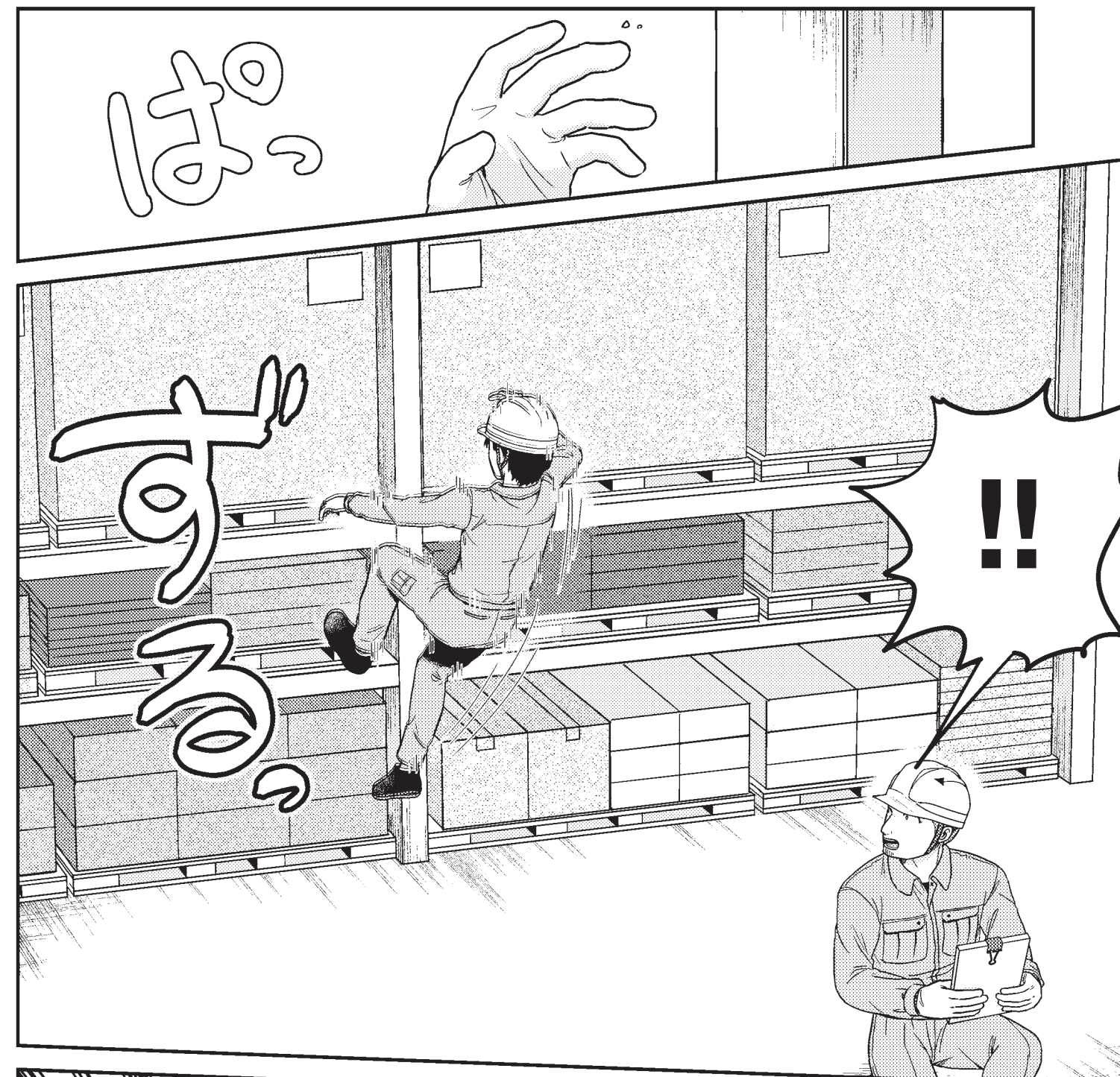


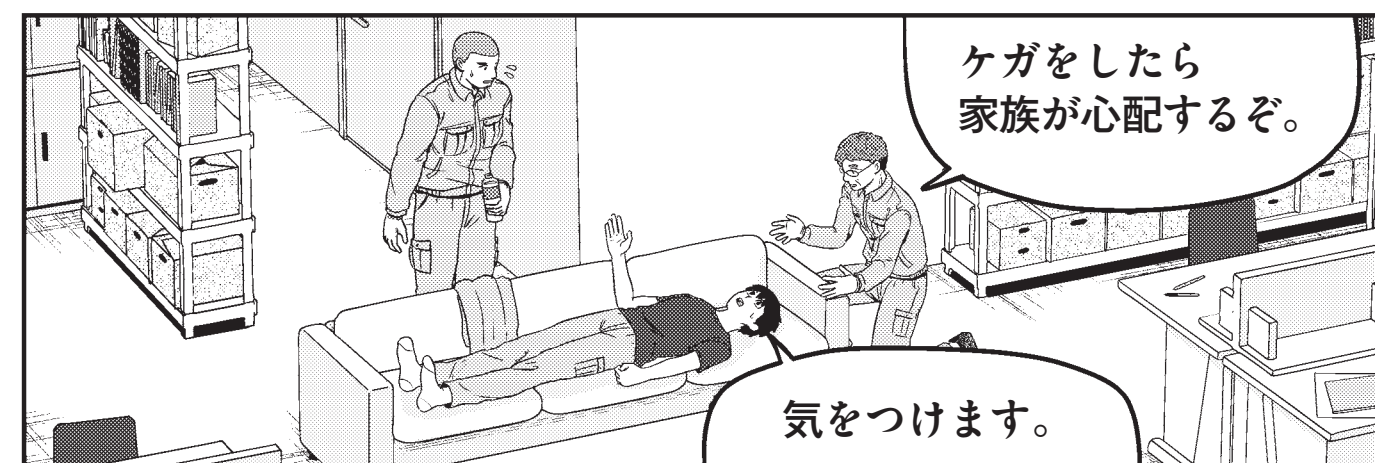
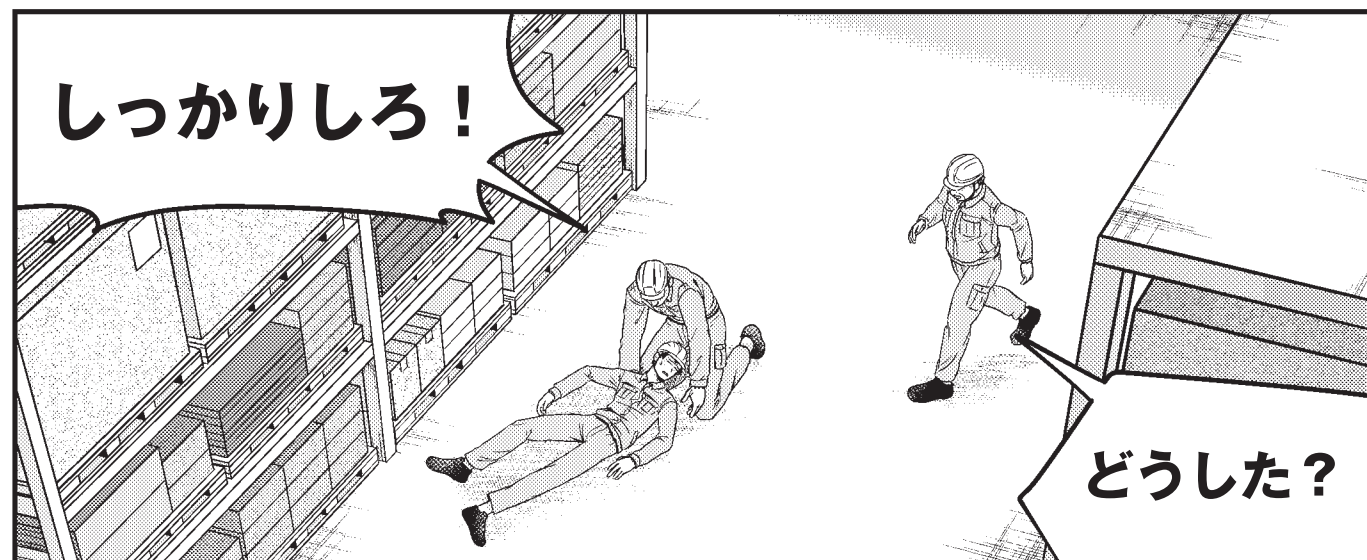




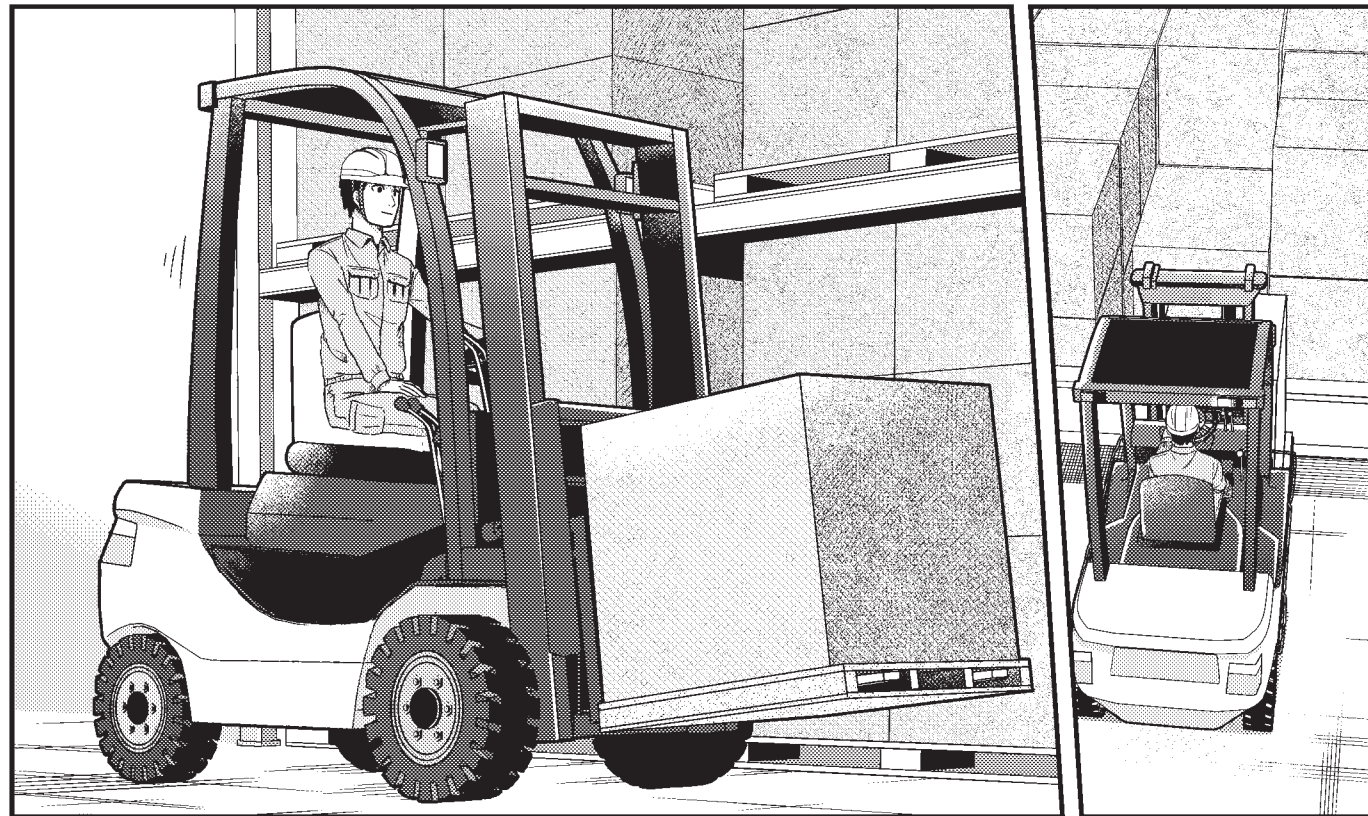
CASE 2







CASE 3

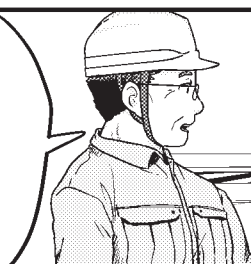


フォークリフトの
運転にもだいぶ
慣れたな～。

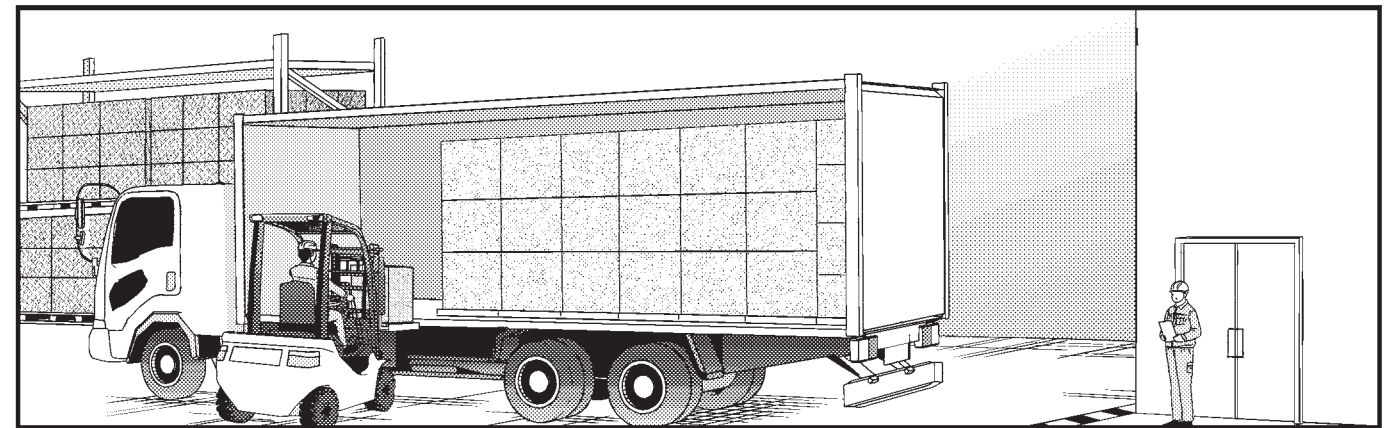
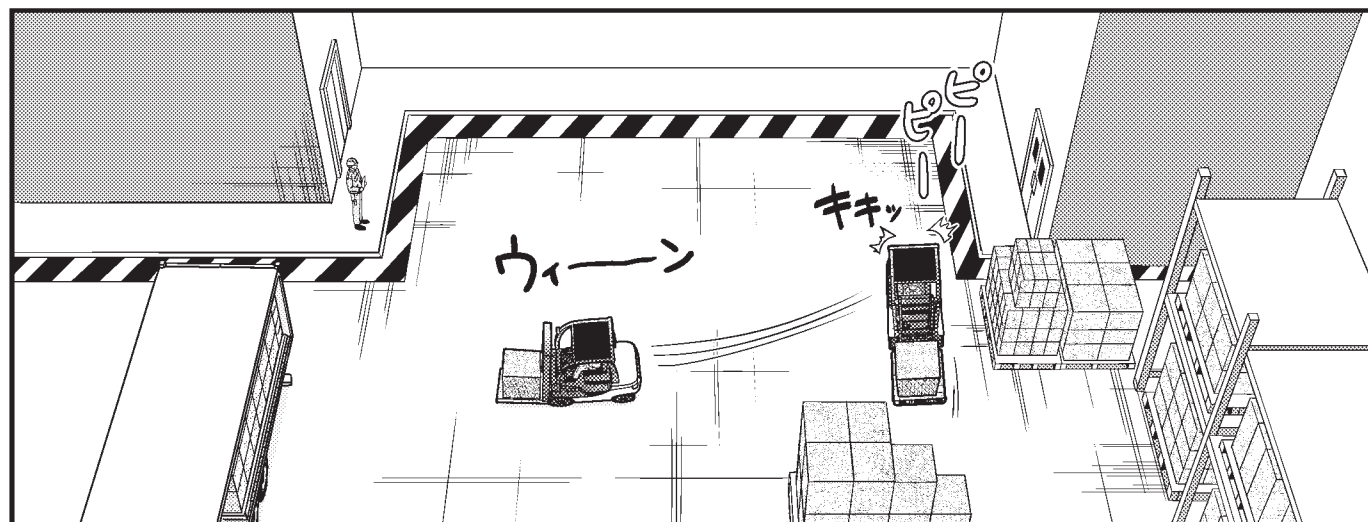
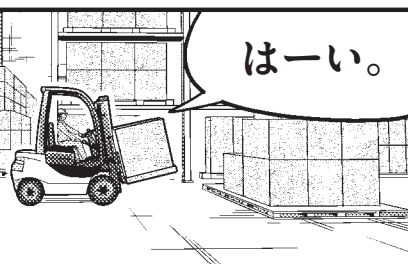


運搬作業も
あと一息だ。
早く終わらせるぞ！

周りを
確認しろよ！

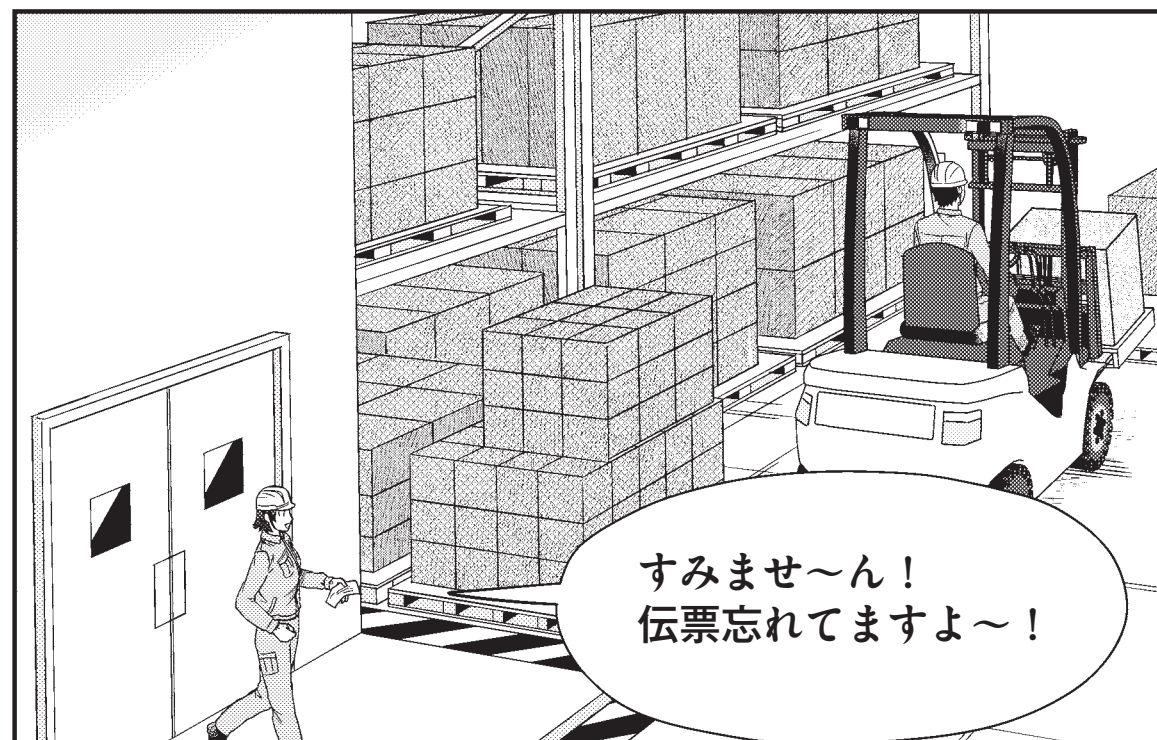


はい。

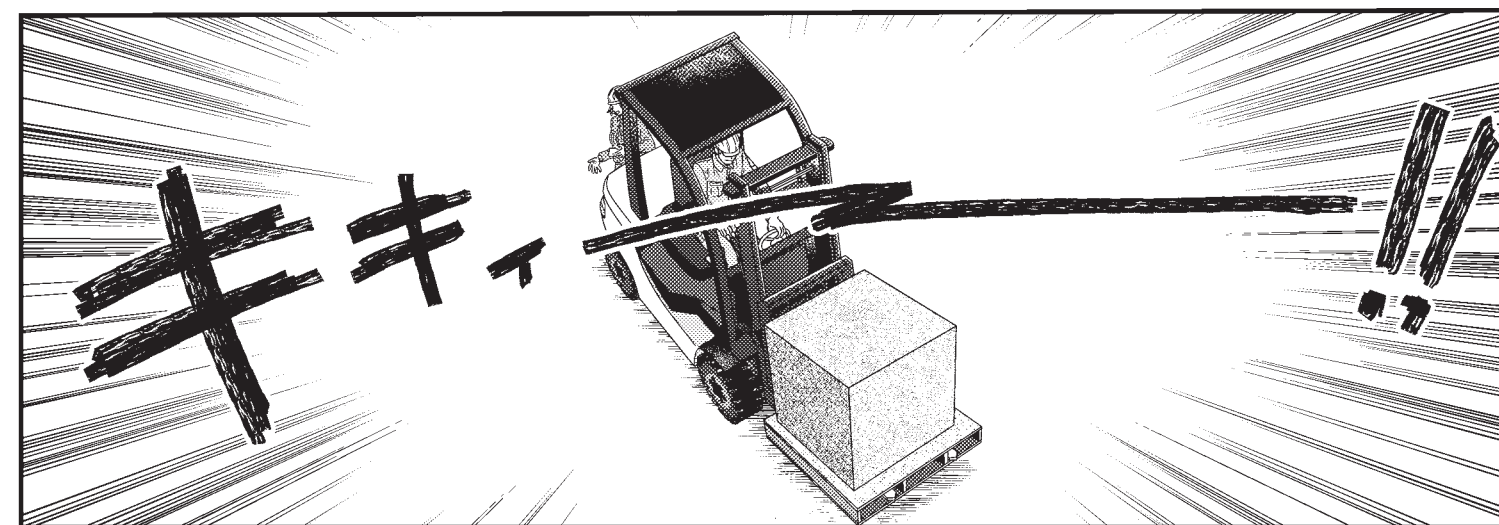
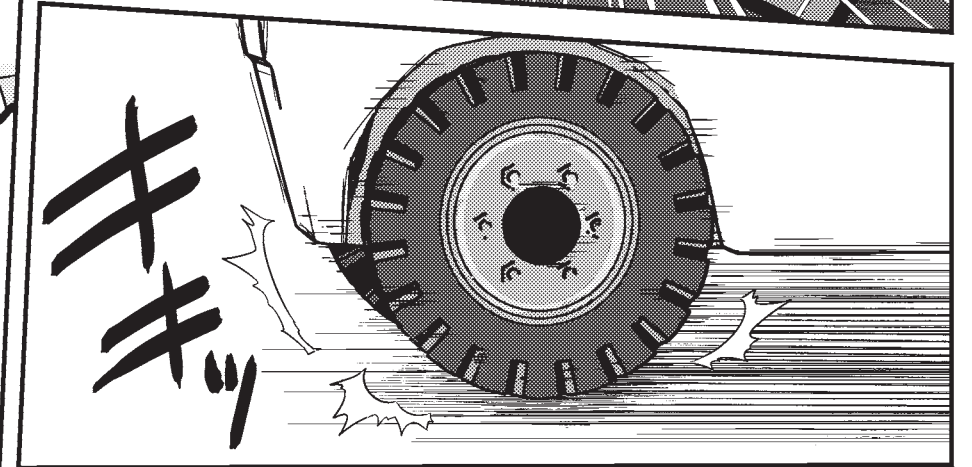
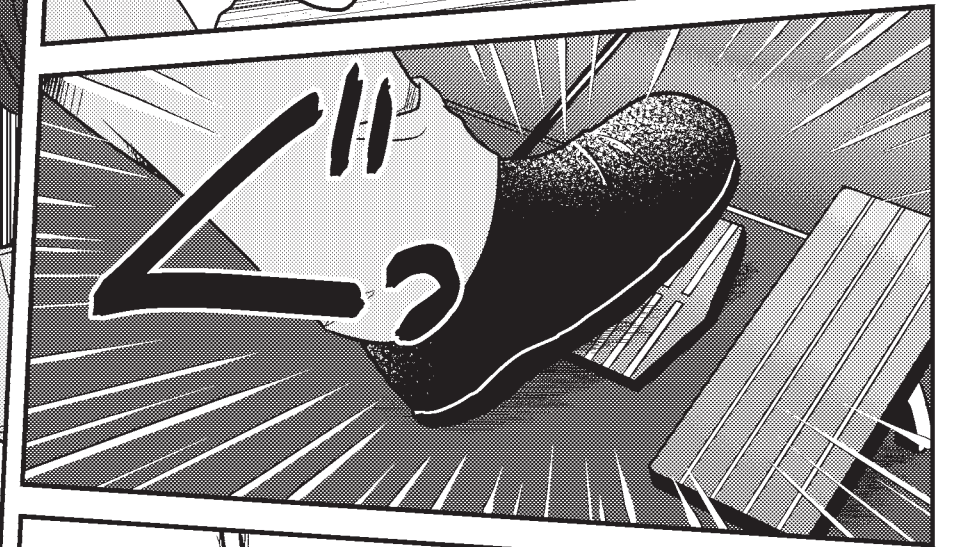
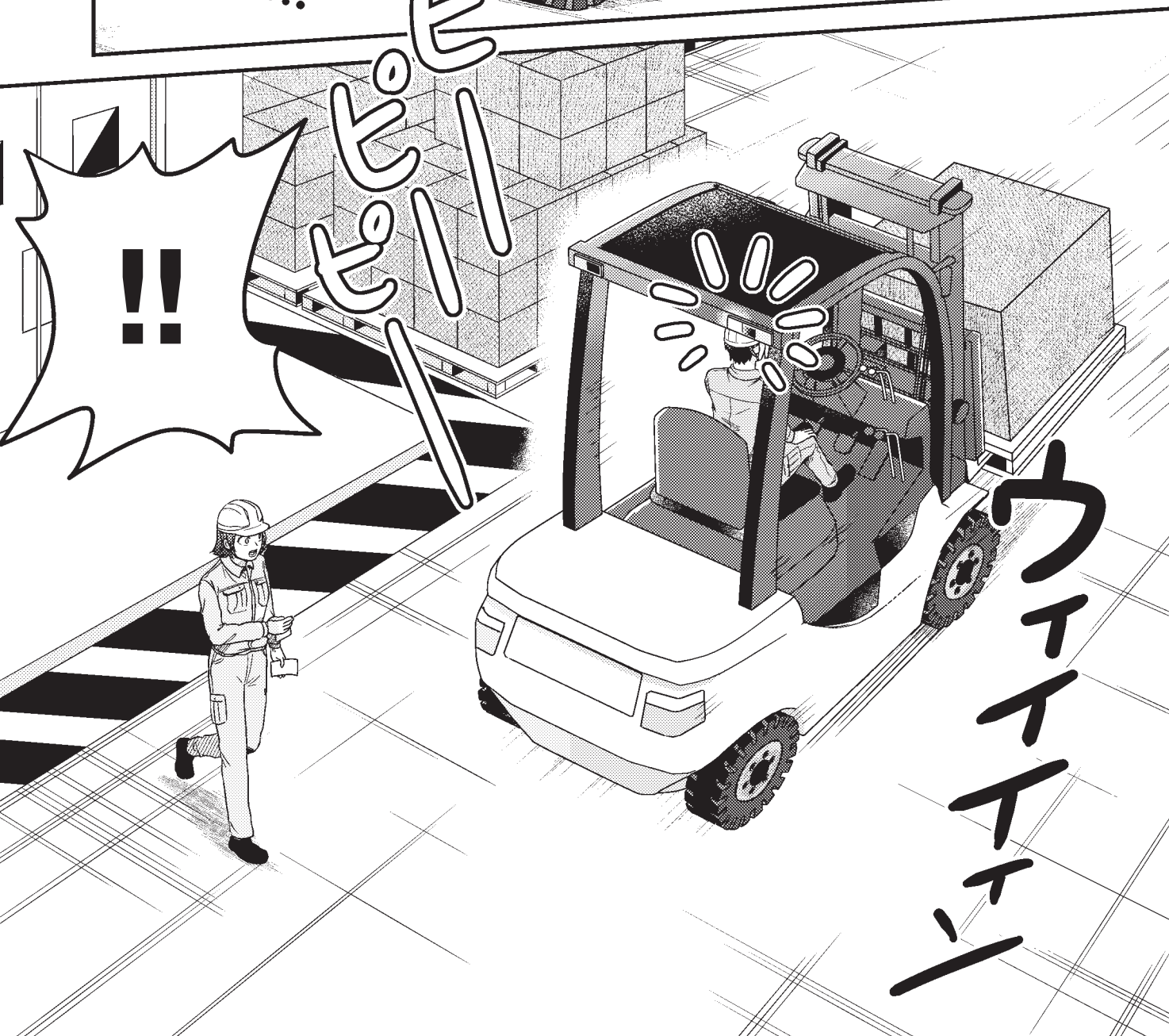
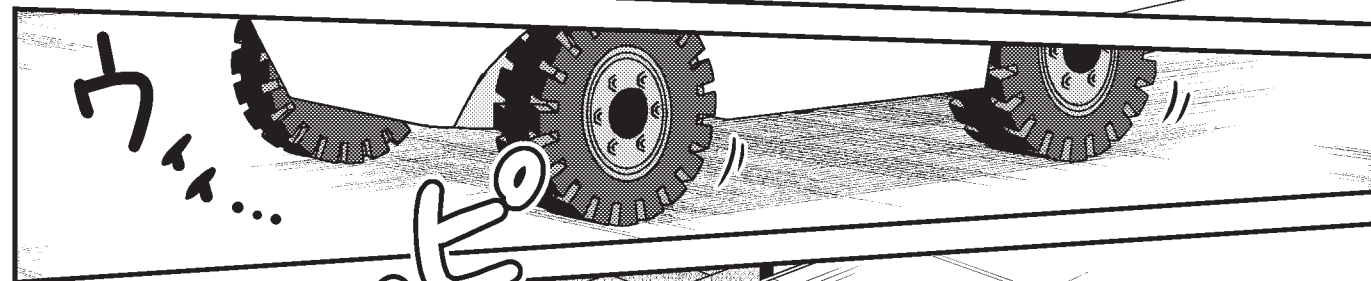
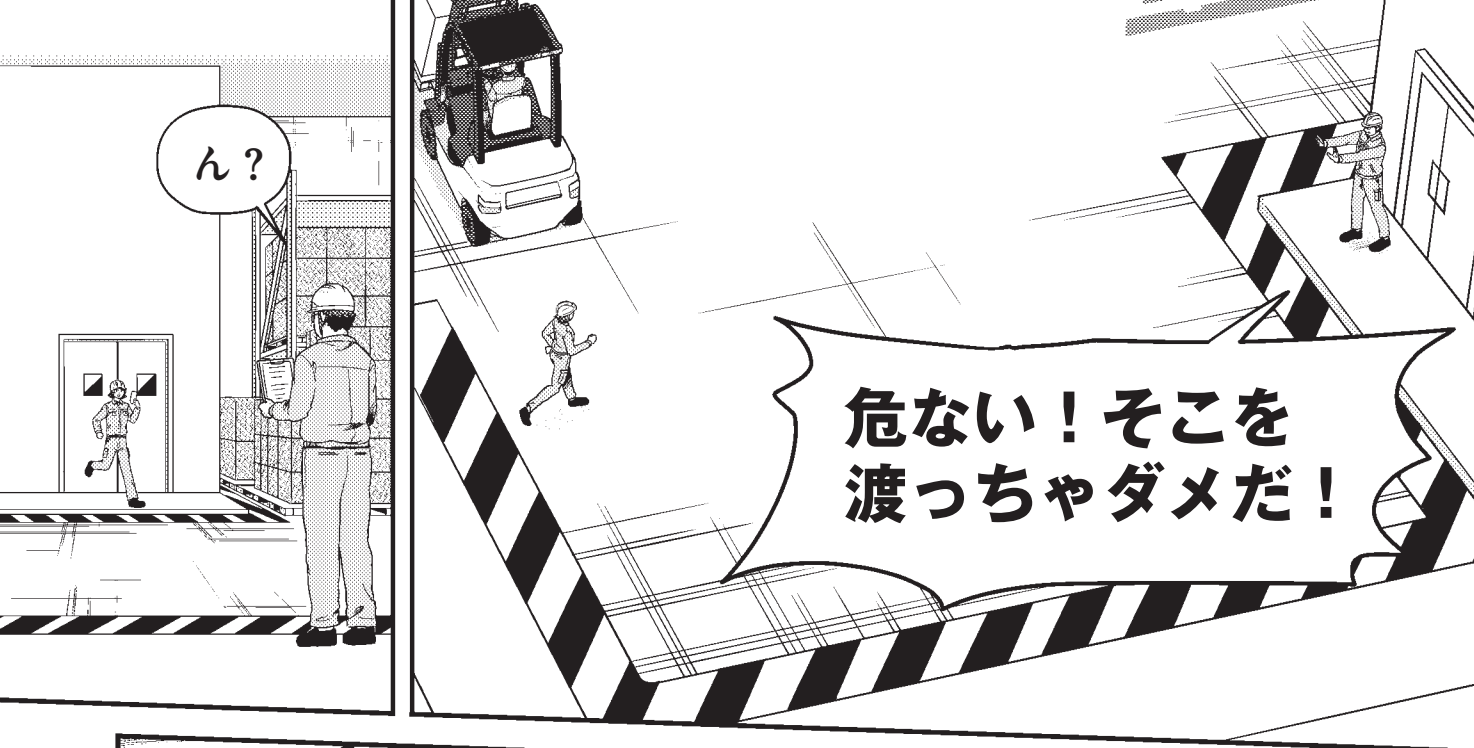


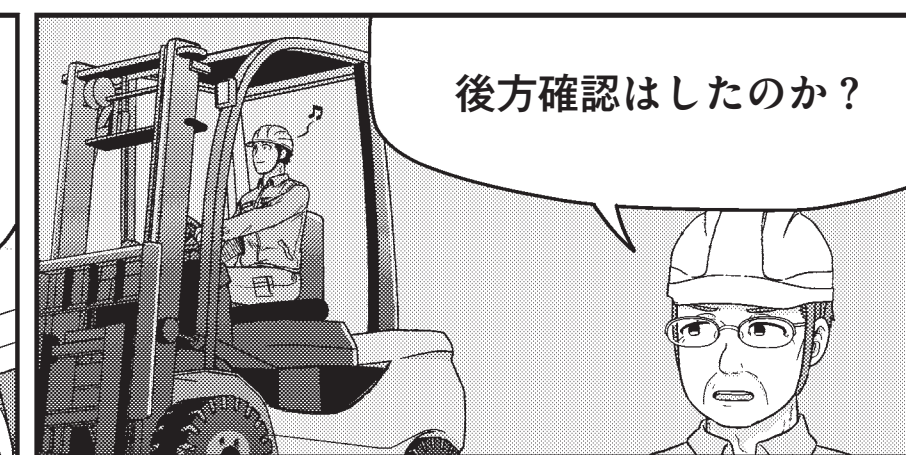
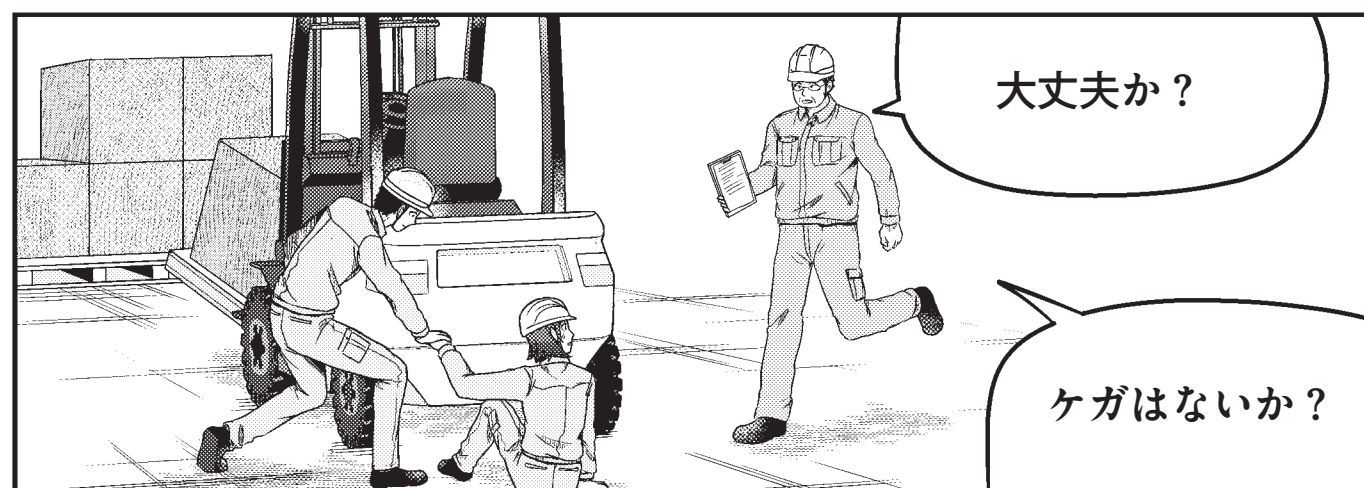
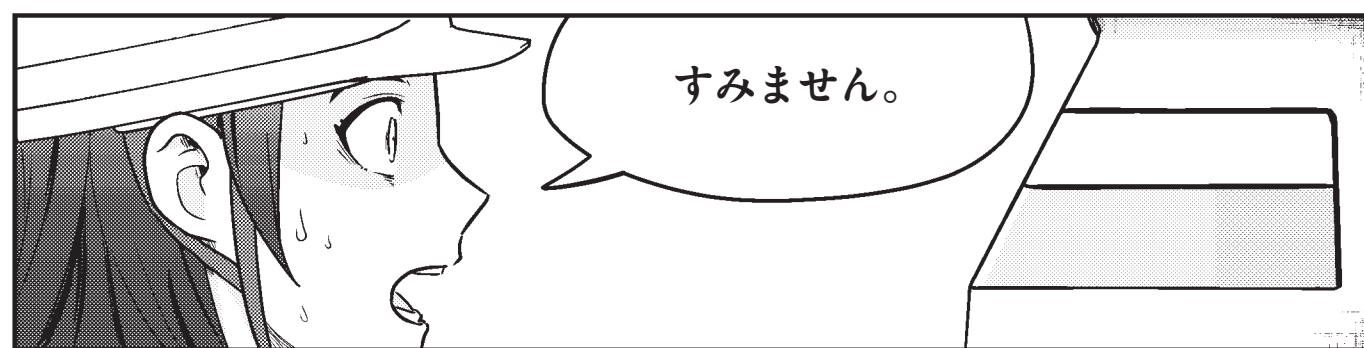
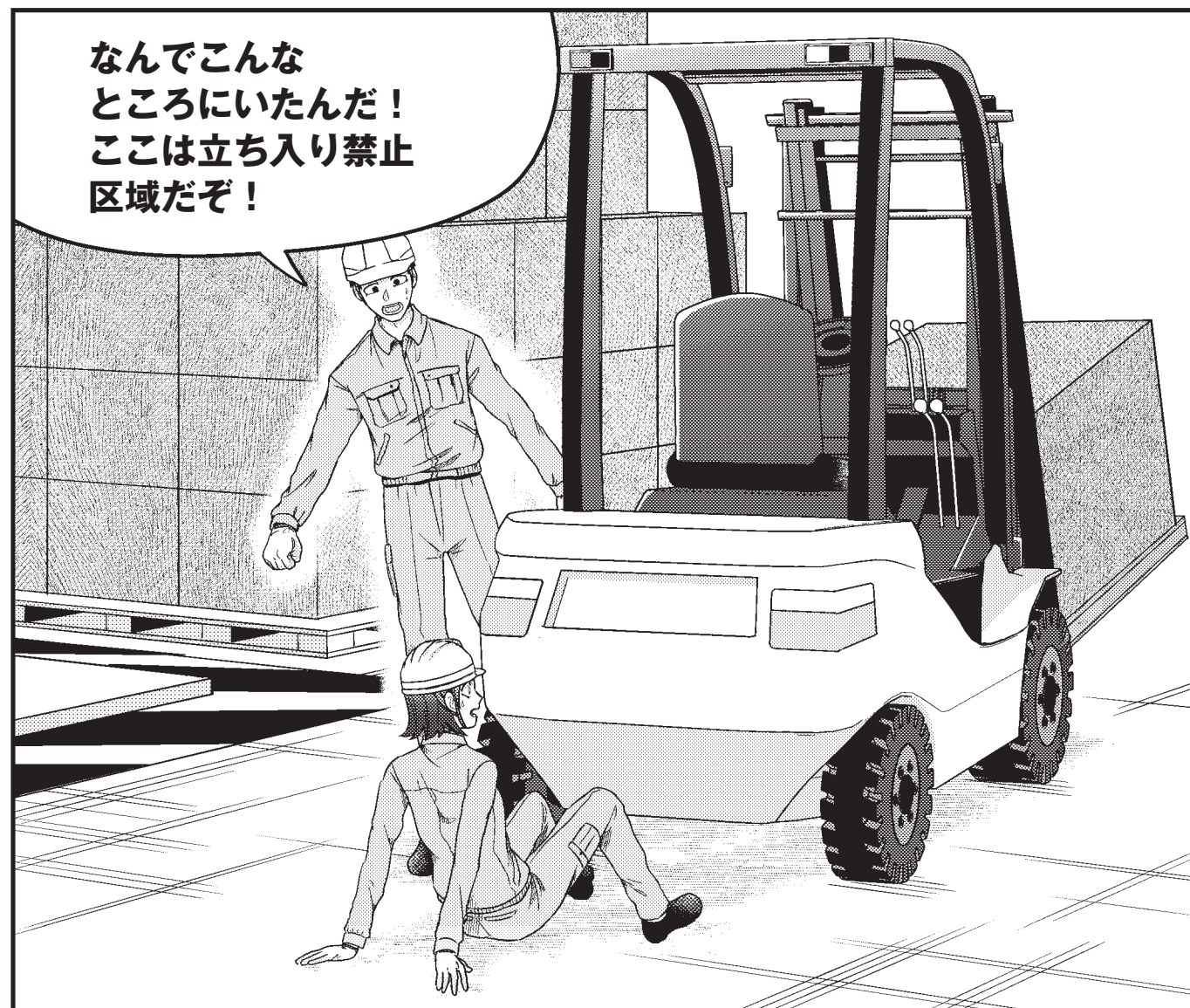
もう、大事な伝票
忘れてる…。

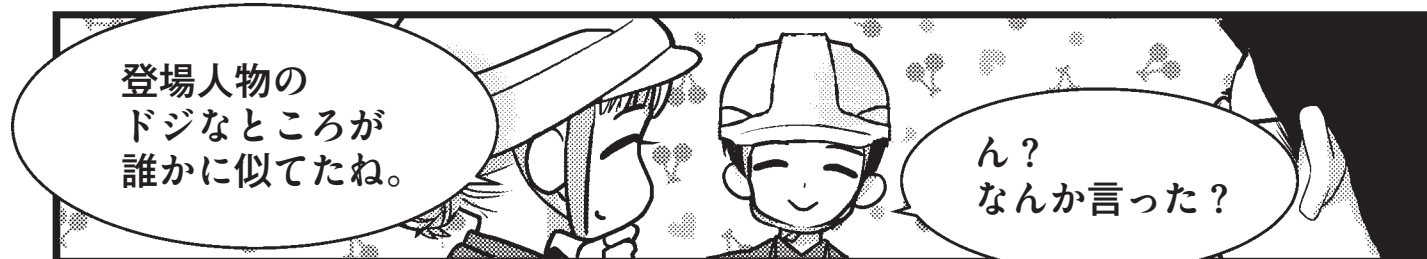
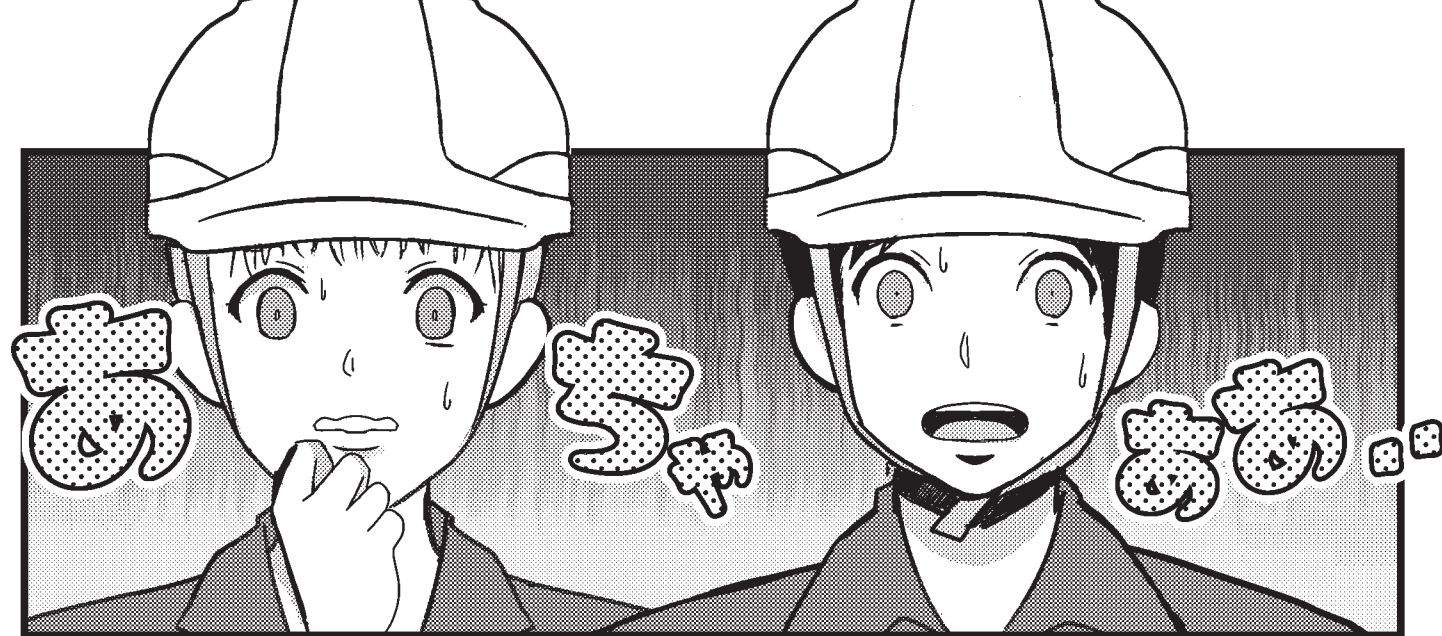
あ！丁度あんな
ところにいた！



すみませ～ん！
伝票忘れてますよ～！







倉庫業で気をつけたいポイント



1 重量物



貨物を運ぶときは、腰痛などの防止のために、重さや大きさに注意しましょう。

2 足もと



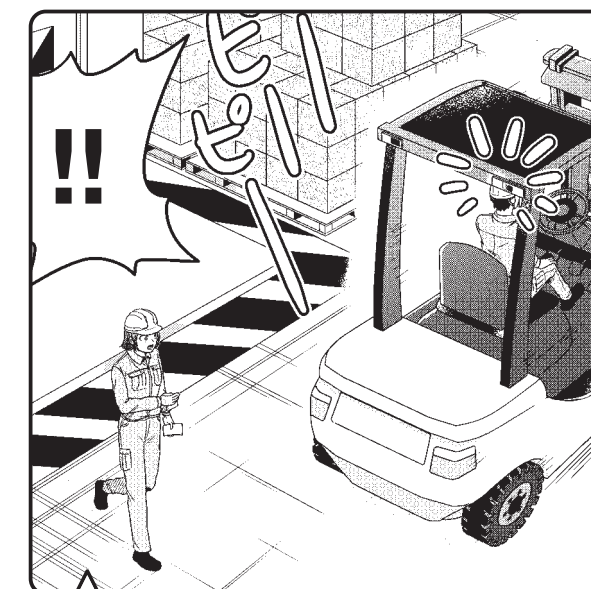
貨物を運ぶときは、転倒防止のために周囲の視界に注意しましょう。

3 高いところ



高いところの作業では転落に注意しましょう。

4 立ち入り禁止区域 / フォークリフト



立ち入り禁止区域とフォークリフトの近くは絶対に通らないようにしましょう。

労災は、決して他人事ではなく身近な問題だ。

ルールを守るとは、「身体」「家族」「生活」を守ることだと覚えておいてほしい。

何かあったときのために、日頃から職場でのコミュニケーションも大切よ。

よし！
ルールを守って毎日がんばるぞ！

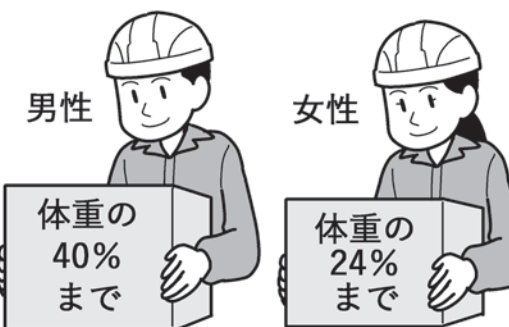
倉庫業

こんなことにも注意しよう！

安全・健康のためのヒント！



1 | 腰痛防止のための重さ制限



重い貨物を持つときは、男性は体重の40%、女性は24%より重い物は人力で運ばない。

(厚生労働省 職場における腰痛予防対策指針より)

2 | 保護帽(ヘルメット)の着用



倉庫内で安全に作業するために、必ずヘルメットを着用すること。暑いからといって、ヘルメットを脱がないようにしましょう。

3 | 脚立/はしごの使い方



脚立の天板に乗ったり、脚立やはしごは足もとがぐらつく場所に立てたりしないようにしましょう。

※詳細は「まんがでわかる安全衛生と労災防止の基本(共通教材)」参照

4 | 熱中症



暑い時期、倉庫内では熱中症に注意。具合が悪くなったら、すぐに相談しましょう。

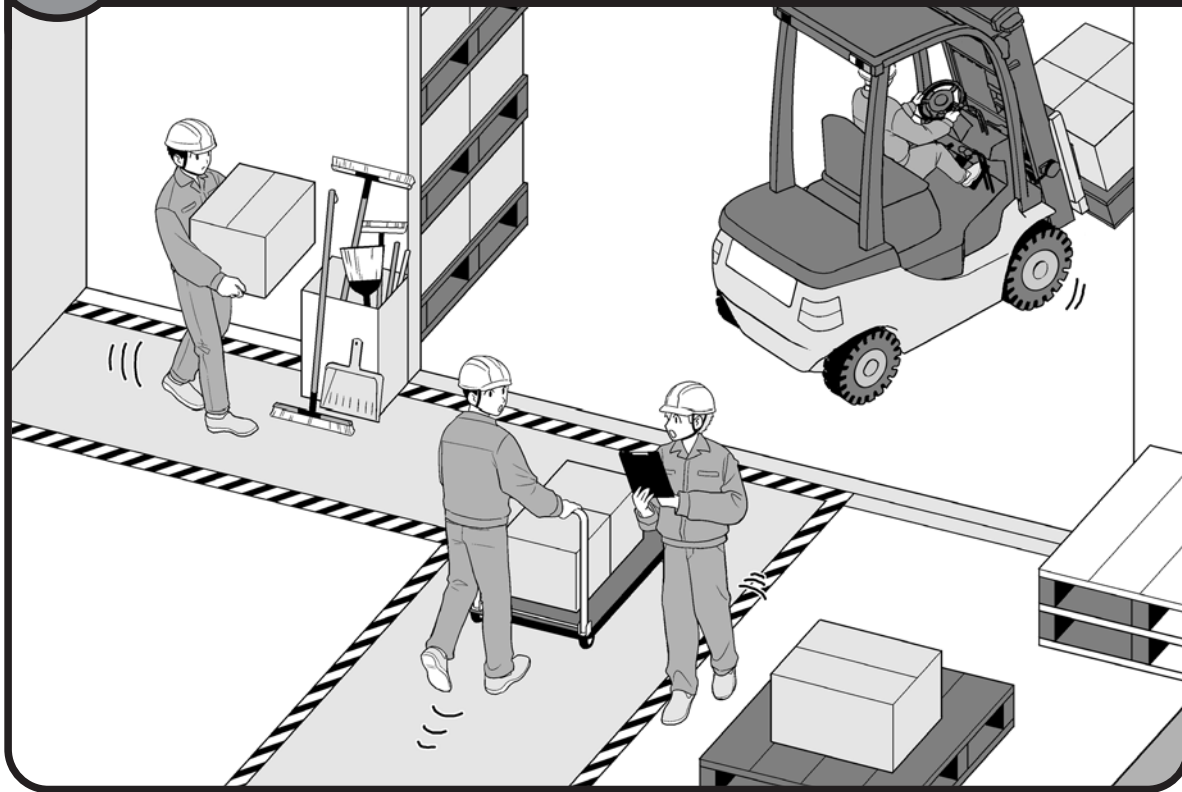
※詳細は「まんがでわかる安全衛生と労災防止の基本(共通教材)」参照

職場の作業の中に潜む危険を知ろう！

危険予知訓練 (KYT)

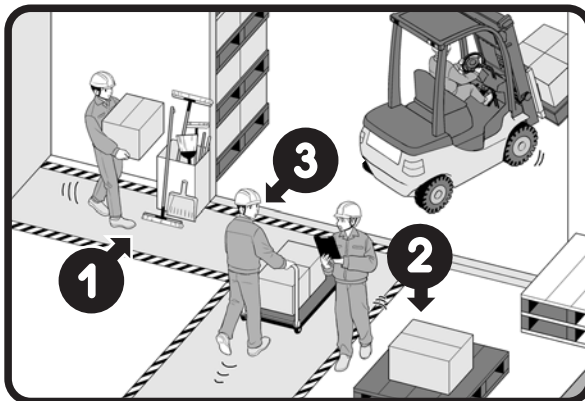
Q

どこが危険か考えてみよう！



A

ここが危険のポイント！



①

出入口は整理整頓し、つまずかないよう気をつける。



②

足もとに注意する。



③

動いているフォークリフトに近づかない。



ほかにも危険なポイントがないか考えてみましょう。

まんがでわかる

倉庫業の安全衛生

2022年3月発行

発行：厚生労働省

企画：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

協力：卸売・倉庫業に係る安全教育教材作成ワーキング

制作：株式会社サイドランチ



本資料に関するお問い合わせ

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課